

スポーツ たちかわ

(特非)立川市スポーツ協会

〒190-0015 立川市泉町786-11
泉市民体育館内

TEL・FAX 042-534-1483

発行責任者 芦 澤 清 八

編集責任者 飯 野 実

e-mail tachikawa.taikyo@gmail.com



謹 賀 新 年



新年のご挨拶



特定非営利活動法人立川市スポーツ協会
会長 芦澤清八

スポーツを愛する皆様へ謹んで新年のお祝いを申し上げます。
また、日頃から当協会の活動へのご理解とご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、昨年は「パリ2024夏季オリンピック」「パリパラリンピック2024」活気にあふれた競技大会が開催されました。立川市にゆかりのあるオリンピックアンにもメダリストが誕生し、多くの感動と勇気を与えていただきました。本年は34年ぶりに東京開催となる「東京2025世界陸上」が9月に、そして11月には「東京2025デフリンピック」が開催されます。世界のトップアスリートが、再び東京に集結することに大変嬉しく思っております。

立川市においても、市民体育大会やスポーツフェスタなど市民の体力向上や健康増進など、スポーツ振興に取り組んでまいりたいと思っております。スポーツは楽しむものであり、年齢や障害の有無などに関係なく市民が各々のライフステージに応じて「いつでも」「どこでも」「だれでも」スポーツに親しみ、「する」「みる」「ささえる」といった多様なスポーツとの関わりを通じて、地域の人々が繋がる活力のあるまちを実現できると確信しております。

当協会は、1946年（昭和21年）に「立川体育同好会」として設立、翌年「立川市体育協会」、昨年4月に「立川市スポーツ協会」に改名し活動をしております。

来年、設立より80年を迎えるにあたり、競技スポーツはもとより立川市におけるスポーツの統一組織として健康づくりや気分転換を含む「スポーツ」の役割をより一層高めることに注力し、立川市とともにスポーツ振興に邁進してまいりたいと考えております。

本年も、当協会の活動にご理解をいただき、ご協力をいただいております。すべての皆様にスポーツの推進という共通の願いに向かい、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭にあたって



立川市長 酒井大史

立川市スポーツ協会の皆様
あけましておめでとうございます。令和7年の新年を迎えましたことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、貴協会は、長年にわたり様々な事業を展開し、スポーツを通じて子どもから大人まで多くの人々が健康で豊かな生活を送れるようご尽力いただいております。本市のスポーツ振興において中心的な役割を担っていただいております。これもひとえに、これまでの歴代の会長をはじめ、会員の皆様のお力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックが開催されました。本市に関わりがある選手を見ましても、パラリンピック車いすラグビーで見事金メダルを獲得した長谷川勇基選手やオリンピック陸上4×400mリレーで6位入賞を果たした中島佑気ジョセフ選手、市内企業に所属しているフェンシング女子サーブルで銅メダルを獲得した江村美咲選手など、「TEAM JAPAN」の活躍は記憶に新しいところで、結果だけでなく、その奮闘ぶりは人々の記憶に刻み込まれ、日本中に勇気と感動をもたらしてくれました。また、オリンピック・パラリンピック以外にも、メジャーリーグの大谷翔平選手やアメリカプロバスケットリーグNB Aの八村塁選手の活躍など、世界を舞台に活躍する日本人選手の躍動は、子ども達に大きな夢を、そして、国民に多くの感動を与えてくれました。

一方、立川市内では、市民体育大会やスポーツフェスタなどをスポーツ協会の皆様と連携して実施し、市民の皆さんの競技力向上や健康増進、体力の維持・向上を図ってまいりました。本年も引き続き、各種イベントや事業の実施等を通じて、市民の皆さんがスポーツを「する、みる、ささえる」機会を創出してまいります。令和7年度は、立川市第3次スポーツ推進計画がスタートする年となりますが、市はこれまで以上に貴協会と連携を深め、市民の皆様の健康増進とスポーツ振興に取り組んでまいります。心よりお祈り申し上げます。

第10回 泉市民体育館まつり

10月14日(月・祝)立川市泉市民体育館にて【第10回泉市民体育館まつり】が開催されました。今年度は晴天に恵まれ野外の競技も開催し、昨年度を超える1720名の参加。競技は吹矢、合気道、柔道、ボッチャ、ミニテニス、バドミントン、太極拳、ソフトバレーボール、手のひらバレー、ダンス、立川アスレチックFCによるフットサル教室、プロバスケットボールDICEによる3×3スポーツ教室、シンコースポーツ(株)による姿勢分析、竹とんぼ、モルック、水泳、ターゲットバードゴルフ、ゲートボール、少年野球でした。

このまつりがきっかけでスポーツが身近になり、楽しい健康づくりになれば幸いです。



令和6年度 普通救命講習会

10月19日(土)泉市民体育館第二体育室において、(公財)東京防災救急協会の講師の指導のもと、緊急時のAEDや人工呼吸の対応等、24名の受講者が講習を受けました。

この講習は今回で17回目となり、来年は10月18日(土)を行う予定です。

救命が必要な緊急時、冷静に対応がとれる技能を身に付けるため、より多くの市民の皆さんに参加していただければと思います。



ベジフェス2024で モルック体験会

令和6年11月3日(日)立川駅北口サンサンロードでベジフェスが開催されました。(主催は一般社団法人たちきたエリアマネジメント・寿屋、シネマシテイ、伊勢丹等)その中で(株)寿屋さんからの依頼により立川市スポーツ協会はモルック体験会を担当。当日はスポーツ協会から8名のスタッフと立川女子高校から5名の生徒さんのボランティアが加わり実施しました。

小さなお子さんを連れてご家族、小学生の友達ペア、中国人のご家族、おばあちゃんとお孫さん、ワーカーさんに付き添わ



れた知的障害の方など年齢や性別、体力差に関係なく参加いただき、1投ごとに見学の方たちから歓声があがるなど楽しい時間になりました。

11:00の開始から参加者が途切れることなく、予定の15:00を結局1時間延長して16:00まで続けましたが、「もう終わっちゃったのー、やりたかったー!」という声が後を絶ちませんでした。

3人から5人の1チームで3チーム対抗、終盤では4チーム、5チームの対抗で、計20試合を越えるゲームをマッチメイクできました。計200人以上の参加者と、見守る家族、お仲間を入れるとさらに多くの方の注目を浴びた大盛況のコーナーになりました。

若葉町体育会の紹介

若葉町は概ね50年ほど前に、この地区において大規模な団地の造成が行われたことを機に、お隣の幸町、柏町とともに砂川町より名称を変えて誕生しました。そしてその時を同じくして体育会も生まれました。その時から今に至るまで、若葉町住民の健康やレクリエーションの要となつていきます。現在は日常的に12の競技団体(専門部会と呼びます)が元気に活動しており、また立川市の他地区の体育会との試合においては上位の成績を残しているところとります。

さて、地域住民の健康づくりや、コミュニケーションの場の一つとして運動会がありますが、この企画運営も体育会を中心として進められています。この数年はコロナ禍の影響で中止になったり規模を縮小しての開催となつてしまいましたが、基本、毎年行われるのであります。今年度についても午前中のみでしたが開催されました。



運動会の競技から

運動会にしても、専門部会の活動においてもいえることは、やはり少子高齢化問題と、若い世代を取り込み次の世代へバトンタッチをしていくことへの問題が課題になっているということでしょうか。

若葉町体育会 会長 尾崎精一

東京都スポーツ功労賞 表彰式

令和6年11月2日(土)午後2時から東京都議会議事堂1階の都民ホールで令和6年度東京都スポーツ功労賞の表彰式が行われた。

立川市スポーツ協会から個人表彰がバレーボール連盟五十嵐会長と団体表彰は(特非)立川市陸上競技協会を推薦、東京都小池知事より表彰状が授与された。



五十嵐 治氏



(特非)立川市陸上競技協会

2024年度 立川市スポーツ指導者養成講座プログラム

2024年度立川市スポーツ指導者養成講座プログラム(主催立川市 主管立川市スポーツ協会)が、3日間6講座開催された。6名の講師が、市内でスポーツ指導に携わる参加者に、様々な角度からの知識や対応などを講義した。質疑応答も行われ、活発な意見交換があった。今回の講座を下記内容で3月に行います。多数の参加をお待ちしております。

令和6年度【第2回】立川市スポーツ指導者養成講座プログラム

開催場所	泉市民体育館(研修室)	申し込み	申し込みはスポーツ協会HPから
主催	立川市	問い合わせ	立川市スポーツ協会 電話 042-534-1483
主管	特定非営利活動法人立川市スポーツ協会	企画協力	堀松スポーツ行政研究所

期 日	時間・会場	テ マ	講 師
令和7年 3月16日(日)	午後3時 ～4時30分	『スポーツ栄養学の応用』	城西大学薬学部 管理栄養士 スポーツ医学博士 矢 島 克 彦
	午後4時45分 ～6時00分	『スポーツとメンタルコントロール』	山野美容芸術短期大学教授 保健学博士 日本体力医学会評議員 永 松 俊 哉
令和7年 3月22日(土)	午後3時 ～4時30分	『スポーツ事故と指導者の リスクマネジメント』	実践女子大学名誉教授 日本ハラスメント&リスクマネジメント総合研究所代表 日 野 一 男
	午後4時45分 ～6時15分	『ウォーミングアップと クーリングダウンの 指導法と指導ポイント』	健康運動指導士 NSCA公認ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS) 社会保険労務士 山 田 洋 一
令和7年 3月23日(日)	午後3時 ～4時30分	『ストレッチの理論と簡単な実技』	早稲田大学エクステンションセンター非常勤講師 健康運動指導士 古 田 裕 子
	午後4時45分 ～6時15分	『WBGTとスポーツにおける熱中症 ～学校部活動を例に解説～』	藤永製薬株式会社 研究開発本部、開発部開発課 循環器病アドバイザー 専任課長 吉 田 豊

加盟団体

- 〈地区体育会〉
 - 富士見町体育会
 - 柴崎町体育会
 - 錦町体育会
 - 曙町体育会
 - 高松町体育会
 - 羽衣町体育会
 - 砂川体育会
 - 栄町体育会
 - 若葉町体育会
 - 西砂川地区体育会
 - 幸町体育会
 - 柏町体育会
- 〈競技団体〉
 - 陸上競技協会
 - 野球協会
 - バレーボール連盟
 - 卓球連盟
 - ソフトテニス連盟
 - 立川弓道会
 - 柔道連盟
 - 剣道連盟
 - 相撲連盟
 - バドミントン協会
 - 水泳協会
 - クレール射撃協会
 - 空手道連盟
 - バスケットボール協会
 - 健康体操連盟
 - サッカー協会
 - テニス連盟
 - 合気道会
 - ゲートボール協会
 - 武術太極拳連盟
 - ダンススポーツ連盟
 - ミニテニス協会
 - ゴルフ協会
 - トライアスロン協会
 - 新体操連盟
 - 吹矢レクリエーション協会
 - 自転車競技連盟
- 〈会長〉
 - 井伊 堅司
 - 林崎 岳四郎
 - 松村 勉
 - 菅原 保
 - 森島 康男
 - 田代 秀夫
 - 川北 富士男
 - 鎌田 精一
 - 尾崎 秀夫
 - 斎藤 正敏
 - 桑山 定崇
 - 岩淵 明
 - 坪内 基治
 - 木原 宏
 - 五十嵐 治
 - 小島 利雄
 - 鎌田 幸雄
 - 岡崎 幸平
 - 伊藤 満雄
 - 小神野 勇司
 - 佐川 聡彦
 - 馬場 克久
 - 中沢 康寿
 - 福森 敏康
 - 木村 勇
 - 荒井 章雄
 - 横井 有江
 - 土方 一成
 - 大沢 英一
 - 森谷 倍己
 - 須崎 榮
 - 金刀 督純
 - 稲田 四千
 - 西田 孝人
 - 豊泉 幸夫
 - 吉本 幸夫
 - 五明 みさ子
 - 河西 信祐
 - 関根 吉雄

令和6年度 賛助会員募集中

たちかわのスポーツ振興にご協力を

個人会員 1口 1,000円 何口でも可 / 団体会員 1口 5,000円 何口でも可

振込口座 多摩信用金庫幸町支店 / 普通預金 0131672

(特非) 立川市スポーツ協会 (トクヒ) タチカワスポーツキョウカイ

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。

特定非営利活動法人 立川市スポーツ協会

ランナーの数だけドラマがある

立川シティハーフマラソン2025開催!

今年も立川に春の訪れを告げる「立川シティハーフマラソン 2025」が開催されます。

今大会では“ハーフマラソン生徒・学生の部”を新設し、多くの学生ランナーの出場が予定されています。

開催日 3月9日(日)

コース 陸上自衛隊立川駐屯地、国営昭和記念公園及びその周辺道路

種目

ハーフマラソン、10km レース、1 マイルレース (約 1.6Km)、ファンラン (3km の部・親子ペアの部 1 マイル)

スタート時間

- 10km レース：午前 9 時 30 分
- ハーフマラソン：午前 10 時
- ファンラン (3km)：午後 0 時 40 分
- 1 マイルレース：午後 1 時から 1 時 40 分 (区分により異なります。)
- ファンラン (親子ペアの部 1 マイル)：午後 2 時から 2 時 10 分 (区分により異なります。)

問い合わせ

立川シティハーフマラソン事務局 (特非) 立川市スポーツ協会
☎ 042-534-1483 土・日・祝日除く 10:00 ~ 17:00

